



平成28年3月18日

各位

会社名 三井住建道路株式会社
代表者名 代表取締役社長 松井隆幸
(コード番号 1776 東証第二部)
問合せ先 取締役 常務執行役員
企画・管理本部長 根来 悟
TEL (03)3357-9081

「新中期経営計画」策定のお知らせ

当社は、平成29年3月期を初年度とする三カ年の中期経営計画（29/3期～31/3期）を新たに策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 計画策定の背景

前中期経営計画（25/3期～28/3期）の間、基本基調としては減少傾向にある公共工事市場のなかで、当社は、受注構造の変革と収益構造の改革を進め、戦略的な設備投資を実施するなど、変動する市場動向に対応できる「強靱な企業体質」創りに努めてまいりました。

計画最終年度（28/3期）においては、経営目標の売上高経常利益率は4.1%（計画比+1.1%）を見通しており、受注高、売上高、損益面のいずれにおいても計画値を超過達成する見込みであります。

今後の三カ年、東京オリンピック、パラリンピックによる一時的、地域的な需要増は想定されますが、道路舗装市場全体としては横ばいで推移するものと思われれます。

このような環境のもと、当社は、次期三カ年において、強靱な企業体質創りを更に進めて安定した収益体質を確立するとともに、ステークホルダーズとの関係を常に意識し、共に成長して行く企業へと歩を進めてまいります。

2. 計画の骨子

(1) 基本コンセプト

「ステークホルダーズに信頼される質重視の経営」

(2) 31/3期 経営目標

- ①連結売上高 350 億円体制のもと、連結売上高営業利益率 4%の確保
- ②単体で、減価償却前営業利益（EBITDA）20 億円、自己資本利益率（ROE）10%の確保
- ③株主への利益還元目標、配当性向 20%

(3) 重点施策

- ①安定した経営基盤の拡充
- ②人材育成と労働環境の改善
- ③株主満足度の向上
- ④コーポレートガバナンスの充実

3. 添付資料

「新中期経営計画（平成29/3期～31/3期）」

以上

本資料に掲載しております計画、予測または見通しなど将来に関する事項は、本資料の発表日現在における当社の戦略、目標、前提または仮定に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の計画、予測または見通しなどと異なる結果となる可能性があります。

新中期経営計画

(平成29/3期～平成31/3期)

平成28年3月

I	中期経営計画の歩み 1
II	前中期経営計画の成果 2
III	新中期経営計画策定の背景 3
IV	基本方針 4
V	主な計数計画 5
VI	成長の指標 6
VII	重点施策 7

I 中期経営計画の歩み

前々中期経営計画 平成23/3期～平成25/3期

《コンセプト》『1st Stage 強い企業への変革』

前中期経営計画 平成26/3期～平成28/3期

《コンセプト》『1st Stage 強い企業への変革』から
『2nd Stage 強靱な企業体質の創造』へステップアップ

経営成績

(単位:億円)		実績	実績		見込	計画
		25/3期	26/3期	27/3期	※28/3期	28/3期
連結	売上高	329	364	360	350	328
	経常利益	10.7	14.3	15.5	15.0	9.9
	経常利益率	3.2%	3.9%	4.3%	4.3%	3.0%
単体	受注高	320	366	344	320	317
	売上高	319	354	346	340	317
	経常利益	10.2	13.7	14.9	14.0	9.5
	経常利益率	3.2%	3.9%	4.3%	4.1%	3.0%

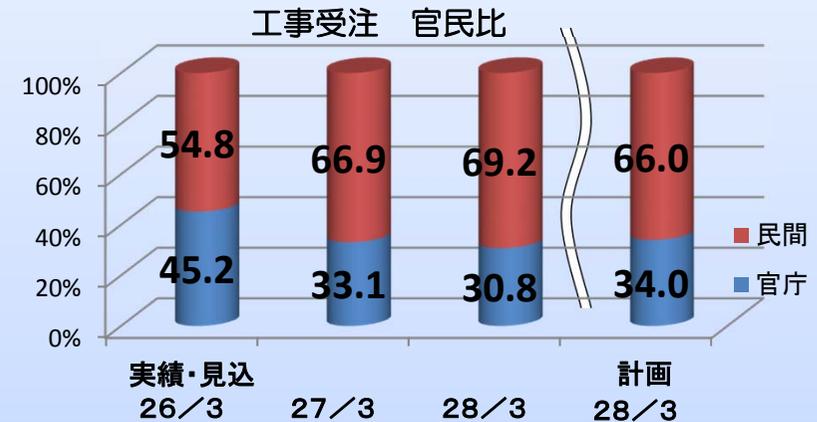
※28/3期見込は
2月10日公表の
業績予想数値

Ⅱ 前中期経営計画の成果

主な重点施策と成果

(1) 企業体質の改革

- ① 市場領域、新規領域の強化・拡大
 - ⇒ 民間工事の割合が拡大
 - ⇒ 土壌汚染対策部門に進出
- ② 工事部門の強化
 - ⇒ 工事採算の向上による経常利益好転
- ③ 技術開発の強化
 - ⇒ 全天候型常温合材（ロードケアZ）開発



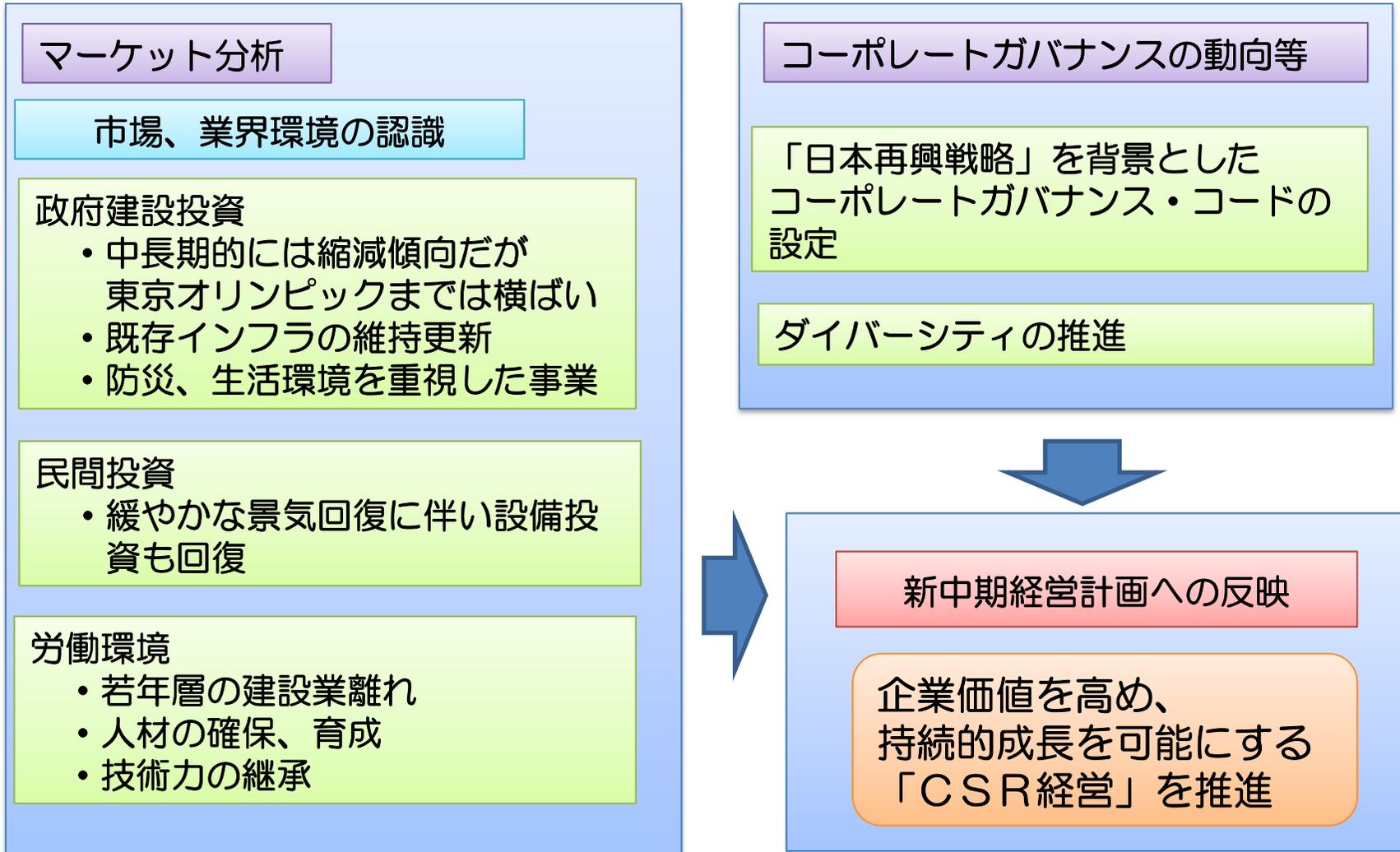
(2) 市場性を捉えた投資・経営資源の配分

- ① 設備資産の計画的な更新と増強
 - ⇒ 主要工場（松橋、朝霞）の建替
 - ・生産能力向上、環境負荷軽減
 - ⇒ 太陽光発電事業開始（田布施ソーラーファーム）



(3) 安定した財務基盤と株主への利益還元

- ① 連結自己資本比率 25/3期 23.4%
 - ⇒ 計画最終年度 28/3期見込 30%
- ② 株主への利益還元
 - ⇒ 25/3期 2円配当 から 計画期間 三カ年は 3円配当
 - ⇒ 27/3期 自己株式 30万株 を取得



前中期経営計画で追求した「**強靱な企業体質**」創りを継続し

《コンセプト》

『**ステークホルダーズに信頼される質重視の経営**』を
展開する

安定した収益体質を確立し、顧客・株主・社員・社会・環境 との関係を常に
視野に入れた経営を実践する

《経営目標》 連結売上高350億円体制のもと、売上高営業利益率4%程度の確保

前中期経営計画で実施した「三カ年で30億円の設備投資」、また今後の「計
画的な更新と増強」による減価償却費増加の影響を考慮して、減価償却前営業
利益（EBITDA）を成長の指標として採用する

連結

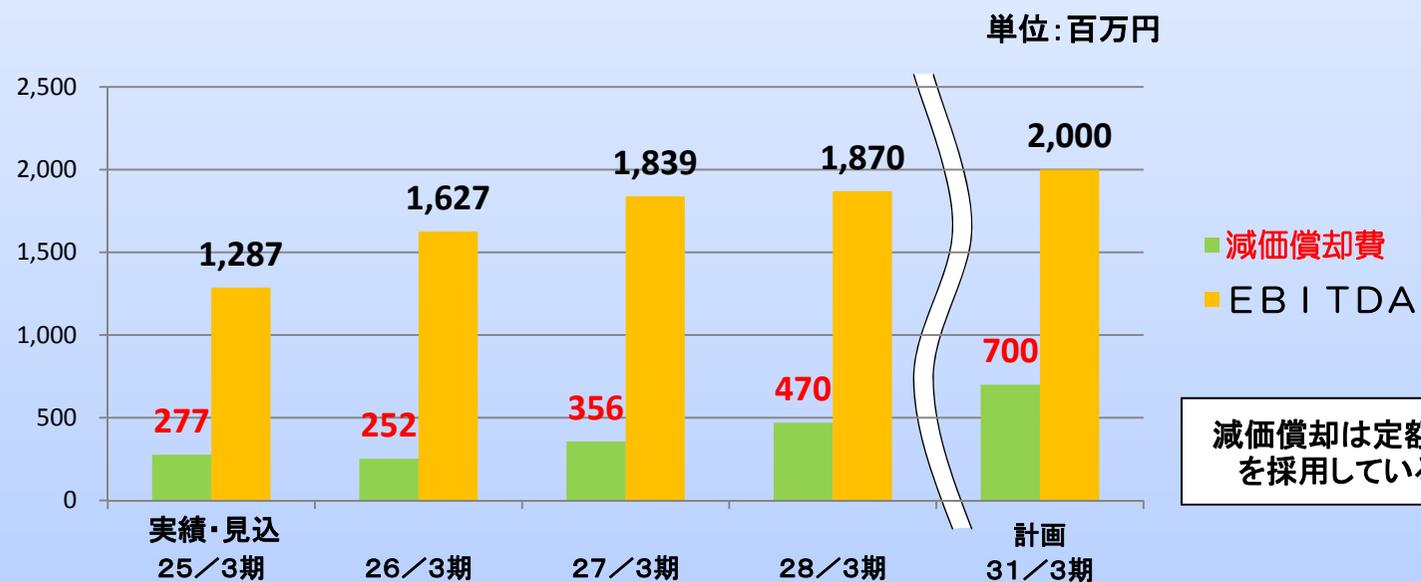
	31/3期
売上高	350億円 程度
工事	290億円 程度
製品等	60億円 程度
営業利益	14億円 程度
経常利益	14億円 程度

単体

減価償却前営業利益 (EBITDA)	29/3期~31/3期
	17億円~20億円
自己資本利益率 (ROE)	(安定的に) 10%以上
配当性向	31/3期には 20%程度

VI 成長の指標

減価償却前営業利益（EBITDA） 単体



(1) 安定的な経営基盤の拡充

- ①民間営業力のさらなる強化
- ②新規展開した事業のさらなる拡充
- ③施工管理、採算管理の徹底による業務品質の向上
- ④製品部門の地域シェア拡大による売上の確保
- ⑤顧客、社会・環境との連携・協調を意識した（三方良し）事業活動の推進
- ⑥労働、公衆災害の撲滅

(2) 人材育成と労働環境の改善

- ①社員教育、研修の充実 ⇒ 将来の経営を担う人材の育成
- ②魅力ある環境づくりとダイバーシティの推進

(3) 株主満足度の向上

- ①適時・適切な情報開示をベースにした円滑なコミュニケーション
- ②利益水準に適した配当の実施

(4) コーポレートガバナンスの充実

- ①コーポレートガバナンス・コードの遵守
- ②モニタリング強化による内部統制システムの整備・強化



《お問合せ先》

三井住建道路株式会社 経営企画部

TEL : 03-3357-9081 FAX : 03-3357-9077

本資料に掲載しております計画、予測または見通しなど将来に関する事項は、本資料の発表日現在における当社の戦略、目標、前提または仮定に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の計画、予測または見通しなどと異なる結果となる可能性があります。
